

**今日のトピック 2018年の日本株式市場は堅調となる見通し
20年前のピークを超えた日本の名目GDP**

**ポイント1 20年前のピークを超えた名目GDP
過去最高は97年10-12月期だった**

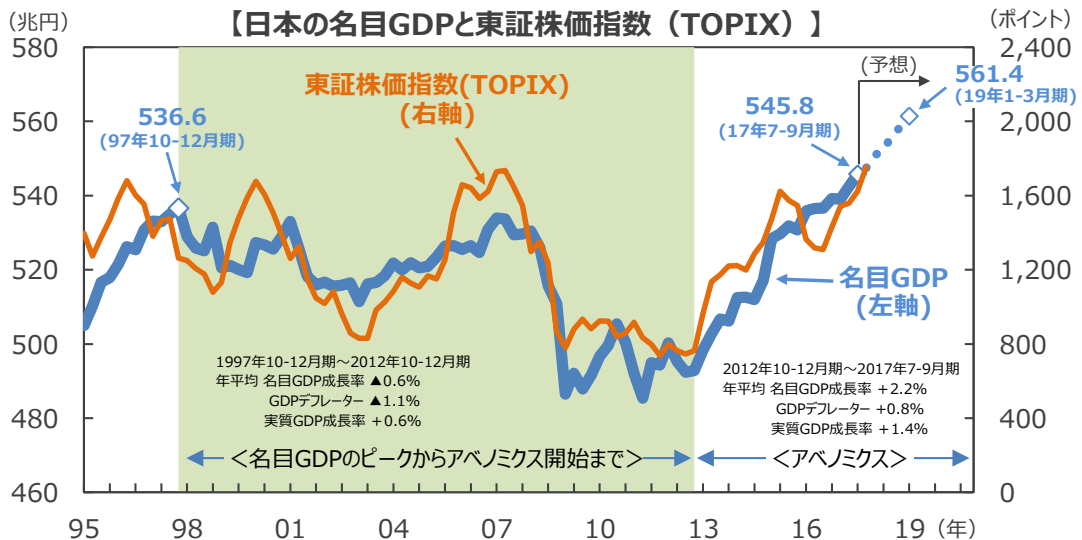
- 日本の名目GDP（実質GDP×GDPデフレーター（物価））は、日本がデフレ期に入る直前の1997年10-12月期に536.6兆円となった後、それを更新することができませんでした。1997年10-12月期からアベノミクスが始まった2012年10-12月期までの平均を見ると、実質GDP成長率は年平均0.6%のプラスでしたが、GDPデフレーターが年平均1.1%低下したため、名目GDPは毎年平均0.6%縮小していました。

**ポイント2 名目GDPは年率+2%成長
2019年初めに560兆円を超える見込み**

- アベノミクス開始以降（2012年10-12月期～2017年7-9月期）で見ると、実質GDP成長率は年平均+1.4%、GDPデフレーターが同+0.8%の上昇となりました。その結果、名目GDPは平均+2.2%の成長を続け、直近の2017年7-9月期は545.8兆円と過去最高を更新しました。日本経済はデフレから脱却し、今後も2%程度の名目成長が継続すれば2019年初めには560兆円を超える見通しです。

今後の展開 デフレから脱却、2018年の日本株式市場は堅調となる見通し

- 名目GDP（景気）と株価は、長い目で見れば連動して動く傾向があります。2018年の日本株式市場は、政治リスクが高まらなければ、名目ベースの景気拡大を背景に上値を追う展開になると期待されます。



(注) データは1995年1-3月期～2019年1-3月期。東証株価指数（TOPIX）は四半期平均値（直近値は2017年10月2日から12月4日の平均値）。名目GDPの2017年10-12月期以降は三井住友アセットマネジメント予想。

(出所) 内閣府、Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**ここもチェック! 2017年12月 1日 投資環境の見通し 2017年12月号
2017年11月16日 『名目GDP』の拡大は続く見通し**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。